

# 活動報告書

クオリスキッズ王子保育園

# 1、活動のテーマ

〈テーマ〉

自然の中で五感を使って見立てて遊ぶ



〈テーマの設定理由〉

自由遊びで見立て遊びが流行っており、形のある物だけでなくブロック・フェルト・チェーン等でお弁当にしてピクニックごっこがはじまり草のつるをかぶに見立てて大きなかぶごっこがはじまった。

また、クオリスキッズ王子保育園の近くには、自然豊かな中央公園や南児童遊園がある。園舎前歩道には沢山のマテバシイどんぐりの木があり、自然に親しむ機会が多く様々な探索活動を経験できる環境の中で、観察したり拾ったりする姿があり、その中で更に見立て遊びが広がっていった。

自然物に関わる中で異年齢のバザーに参加したところ、砂場で花や草や枝などを食材に見立てはじめた為、型抜きなどを購入して見立て遊びが広がるように環境設定をしていった。砂場で想像を膨らませながら五感を使って表現出来る砂場遊びを提供していきたい。



## 2、活動スケジュール

### ○2025年度スケジュール

- 4月 【砂場での自然物見立て遊び】 職員研修に参加  
)
- 9月 幼児クラスの子どもバザー開催
- 10月 散歩先にて、どんぐりや木の実や葉っぱなど探索遊びを  
)
- 11月 楽しみ、持ち帰り砂場で使って見立て遊びに発展
- 2月 お楽しみ会にて見立て遊びから発展したお弁当ごっこ開催
- 3月 砂場にて自然物を使った遊び開催

### 3、活動の為に準備した素材や道具、環境の設定

- ・ 砂場
- ・ 砂場の型抜き
- ・ 自然物

(どんぐり、どんぐりの帽子、松ぼっくり、石、枝、銀杏の実等)

### 4、活動内容

「自然物を使って見立て遊びをやってみよう」

自然物を活用してままごとやお店屋さんごっこに発展させてみよう

## 4、活動を設定した理由

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わりなど)

さくら組(四歳児)のバザーが行われたことで、やり取り遊びが広がり「いらっしやいませ」「これください」等の声が出はじめ買い物ごっこに繋がっていった。すると「いただきます」と保育室内で鞆を持って出かけるようになった



鞆の中に食材に見立てたものを入れ始めた為、部屋の環境にお弁当箱やチェーンや○△◇のフェルト、ブロック、洗濯ばさみ、トング、自然物(どんぐり、どんぐりの帽子、松ぼっくり等)等、想像して見立てやすい玩具を追加すると、ピクニックごっこや、親子お楽しみ会に繋がった為、砂場で引き続き見立て遊びを行うと、さらに広がり生まれた。



## 4、活動内容

そこで、砂場に砂場道具の他に型抜きやレジャーシートを設置。

「動物園に餌を持って食べさせてあげに行くね」「公園にピクニックに行ってくるね」

等の声が広がり友だち同士の関わりも増えてきた。



子どもたちで見つけてきたものを材料に追加すると、石、枝、銀杏の実、等野  
活用して異年齢でのお店屋さんごっこに展開。枝をごぼうに見立てたり、野  
菜屋さん、お肉屋さん、魚屋さん、様々に発展し見立てていた。



## 5、振り返り

砂場で遊んでいる中で身体的、精神的に育ち、また関わりや想像力など様々な五領域にも繋がることを発見した。

子どもの実際の姿から読み取ることで、そこに関わる保育士自身も驚きや発見があった。また、砂場の見立て遊びに関する研修にも参加したことで、自然物を活用する大切さを感じた。

今後は更に広く見立てられるような実や落ち葉などを子どもたちと見つけて砂場へ持ち帰り、水や砂や石や枝等、様々な感触に触れながら見立て遊びに発展させていきたい。

